



歯周病の治療の基本的な流れ



歯周病は、歯や歯ぐきに付着したプラーク（汚れに細菌が取り付いたもの）により炎症を引き起こしその影響で歯を支える顎の骨を溶かす病気です。

また、むし歯はお口の中の細菌とプラークが時間と共に熟成されてできた酸によって歯を溶かす病気です。

ハミガキをしているのにむし歯や歯周病になる、なんて方も多いのではないのでしょうか。これはむし歯や適合の悪い差し歯や銀歯に付着したプラークが原因です。これらの原因を治して一般的な磨き方の他に患者さんそれぞれの特徴に合わせたコツのようなものがあります。これを的確に指導するのが我々、歯科医師と歯科衛生士の責務です。

治療方針としては、

- 1 歯や歯ぐきの検査
（差し歯や銀歯の適合、ブリッジや入れ歯、歯ぐきの深さ、出血の有無、動揺の有無など）
- 2 歯の汚れを取りながら一般的なハミガキを指導
（急激に汚れを取ると知覚過敏が出てくることがあるので、ハミガキ指導重視となります）
- 3 再検査
（一般的なハミガキで取れない、または取りきれない原因を調べます）
- 4 原因除去治療
（むし歯、抜歯、不適合な差し歯や銀歯、歯ぎしりや噛み合わせなど）
- 5 さらに歯の汚れを取りながらハミガキチェック

- 6 再検査
（治療の経過とハミガキの状態をみます）
- 7 問題なければ定期検査へ 気になることがあれば4に戻ります
* 数字は通院回数ではありません

歯周病治療の終わりとは？

歯医者から見る理想形は2つあります。1つ目は、歯ぐきの検査をして出血しないこと。この出血は顎の骨を溶かす可能性を持っています。2つ目は、ハミガキで取れる汚れがないこと。これは、患者さん自身でハミガキ（プラークコントロール）ができていることとなります。

歯周病の治療は、痛みが出るのがほとんどなく、虫歯と違って削って詰めて終わりとはなかなかいきません。歯医者さんに行けば歯周病が治る！と思われそうですが実際に治すのは患者さん自信です（毎日歯医者さんを受診することはできないと思いますので）。

私たち歯科医の仕事は、ハミガキのしやすいお口の環境を整え、みがき残しを指摘して患者さん一人一人の適切なハミガキを指導し重要性を再確認してもらうことです。

健康な歯と歯ぐきをいつまでも保っていけるよう願っています。

